

地域のつながりを大切に

ユニセフ千葉事務局の活動報告より

ユニセフ募金千葉事務局では、ビデオやパネルなどのユニセフ視聴覚教材の貸し出しを行っています。ビデオを申し込む際に、どのようにユニセフの学習をすすめたらよいか、福本さんや事務局のスタッフが学校の先生から相談をもちかけられることもしばしばです。最近は、総合的な学習の時間の導入もあり、学校での学習会を頼まれることも多くなってきました。

福本さんは、スタディツアーナーの経験から、学校での学習会に積極的に足を運ぶようになりました。学校で学習会をするにあたっては、事前に担当者と学習会の内容や学校からの要望、ねらいなど細かい点の打ち合わせをします。当日、福本さんは、ワークシートやクイズを用意します。子どもたちが活動に積極的に楽しく参加し、その日の目的をしっかりと学べるようにと考えられたものです。

印 旗郡栄町の安食小学校では、ベトナムでのようすを教えてほしいという要望から、6年生の総合的な学習の時間の授業でスタディツアーナーの報告をしました。パソコン教室のスクリーンと各画面に映し出されるベトナムのようすを福本さんが自分の感じたことも交えて説明するので、子どもたちはベトナムをより身近に感じることができたようです。ベトナムの生活やお金の違いなど、たくさんの質問が出ました。その後は自分の興味のある国について班にわかつて調べる活動が続き、福本さんは6年生の研究発表会に招待されました。

成 田市の成田中学校では事務局のスタッフも参加してユニセフについての学習会を開きました。「プラタナスタイル」と名づけられた授業では、生徒が自主的に興味のある分野を選択して学習する形式が取られており、ユニセフ以外にも、写真屋さん、元スチュワーデスさんなど地域の方が集まってそれぞれの学習会をおこないました。

ユニセフに集まったみなさんはいざれもユニセフへの関心が深く、スライドでのユニセフ活動紹介にも真剣なまなざしを向けてくださいました。ベトナムで日常使われている雑貨や、ユニセフが提供している「生存の知識」(健康にくらすために必要な知識をまとめた教材)にも興味津々。質問の時間が足りなくて残念でした。

後日、JR成田駅で、「ユニセフ募金をおねがいしま～す」と呼びかける生徒のみなさんを見ついた事務局のスタッフは、思わずかけよって募金しました。

ユニセフ募金千葉事務局で活動されている福本朋子さんは昨年、スタディツアーナーとしてベトナムを訪れてから、活動の場を近隣の学校での学習会に広げています。

現場のようすを自分の感じた言葉でお話される福本さんのお話に子どもたちも興味深く耳を傾けています。

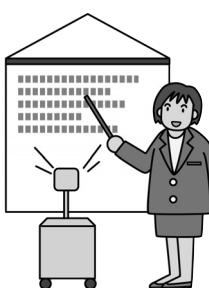
福本さんの活動は子どもたちにどんな変化をもたらしているのでしょうか?

T-NET 広場



三里塚小学校5年生のみなさんこんにちには!

地球市民になろう!



成田市
三里塚
小学校での
活動のようす



本校第二
小学校での
活動のようす

地域の募金事務局だからこそ、近隣の学校とも密着して活動することができます。児童・生徒のみなさんの地域の活動にも事務局は協力することができます。

全国には日本ユニセフ協会の支部、友の会、募金事務局などが24ヶ所あります。地域のつながりを生かしてユニセフ支援! 学校の学習活動に日本ユニセフ協会の地域組織が加わることが増えています。

(日本ユニセフ協会の地域組織一覧はインフォメーションページをご覧ください。)